

四條畷龍伝説

ある夏のこと、四條畷ではひどい干ばつが起きました。そこへ通りかかった、奈良時代の有名な高僧である行基^{ぎょうき}は村人を救おうと立ち上がり「雨を降らせたまえ」とお経を唱えながら龍王に祈りました。

すると不思議なことに、突然空が曇りだし、大粒の雨がたちまち降りそそぎ始めたのです。恵みの雨が上がって村人は、頭、胴、尾の3つにちぎれて落ちてきた龍を見つけました。

我が身を裂いてまで人々の苦しみを救った龍王の霊を弔うため、頭の落ちたところに龍頭寺^{りゅうとうじ}（龍光寺）、胴の落ちたところに龍腹寺（龍間寺）、^{りゅうふくじ たつまでら}尾の落ちたところに龍尾寺^{りゅうびじ}を建てました。

四條畷

龍伝説

監修 四條畷市教育委員会

イラスト 佐野 喜美

パンフレット作成 大阪電気通信大学
総合情報学部
社会プロジェクト実習
令和5年度履修生

発行日 令和5年11月22日